



59-39

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6年 6月 24日

豊 田 市 長 殿

提出者
住所 愛知県刈谷市相生町三丁目3番地
氏名 アイシン開発株式会社
取締役社長 中村 武司
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0566-27-8700

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

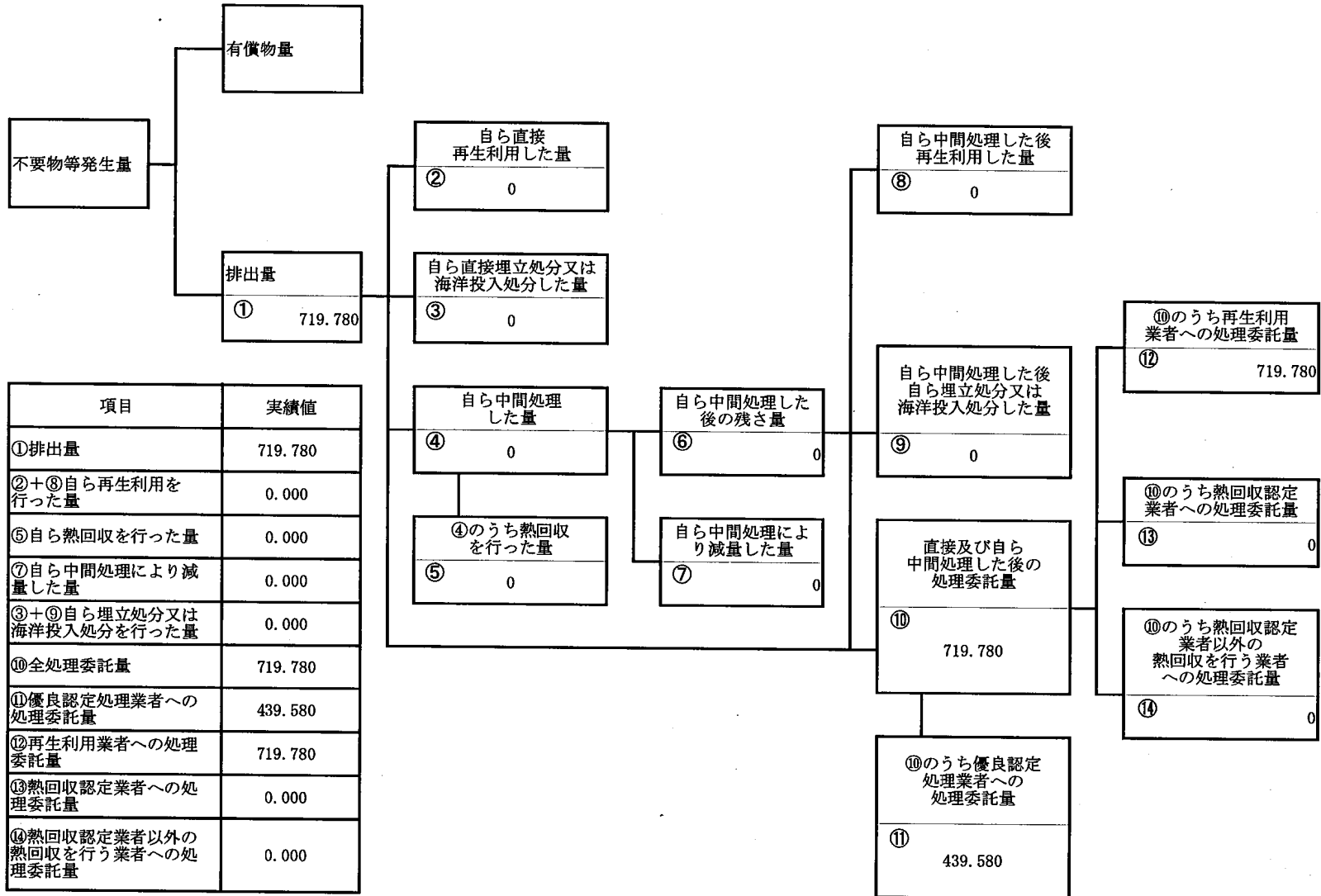
事業場の名称	愛知県刈谷市相生町三丁目3番地
事業場の所在地	アイシン開発株式会社（豊田各現場）
事業の種類	総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期	令和5年4月1日～令和6年3月31日

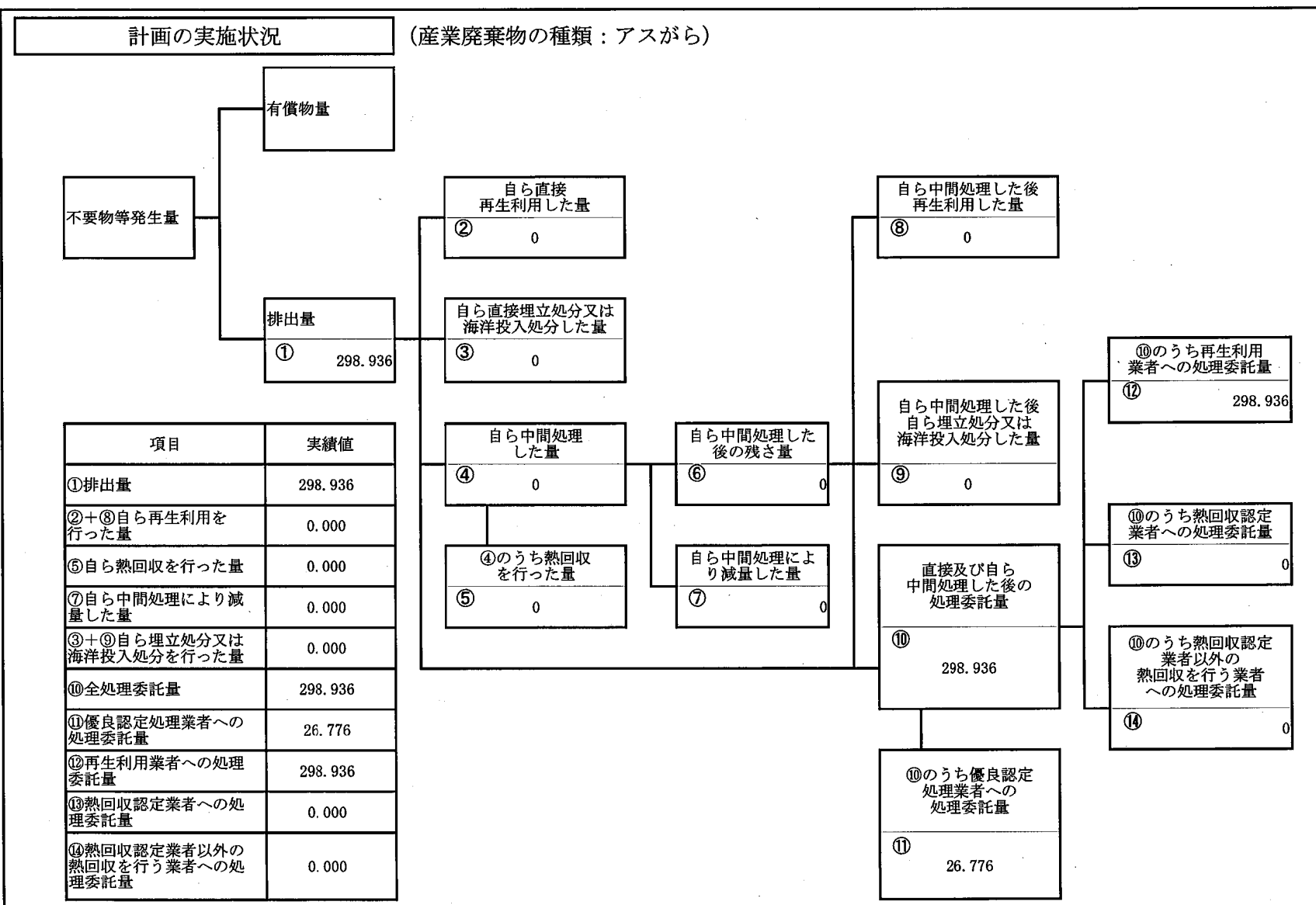
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	8771.100 t	全処理委託量	8771.100 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	8274.500 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
※事務処理欄			

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：コンガラ)





(産業廃棄物の種類：その他がれき類)

有償物量

不要物等発生量

排出量

① 98.776

自ら直接
再生利用した量

② 0

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③ 0

自ら中間処理
した量

④ 0

④のうち熱回収
を行った量

⑤ 0

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥

自ら中間処理に。
り減量した量

⑦

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧ 0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨ 0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

98.776

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪ 86.492

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

12 15.804

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑬	0
---	---

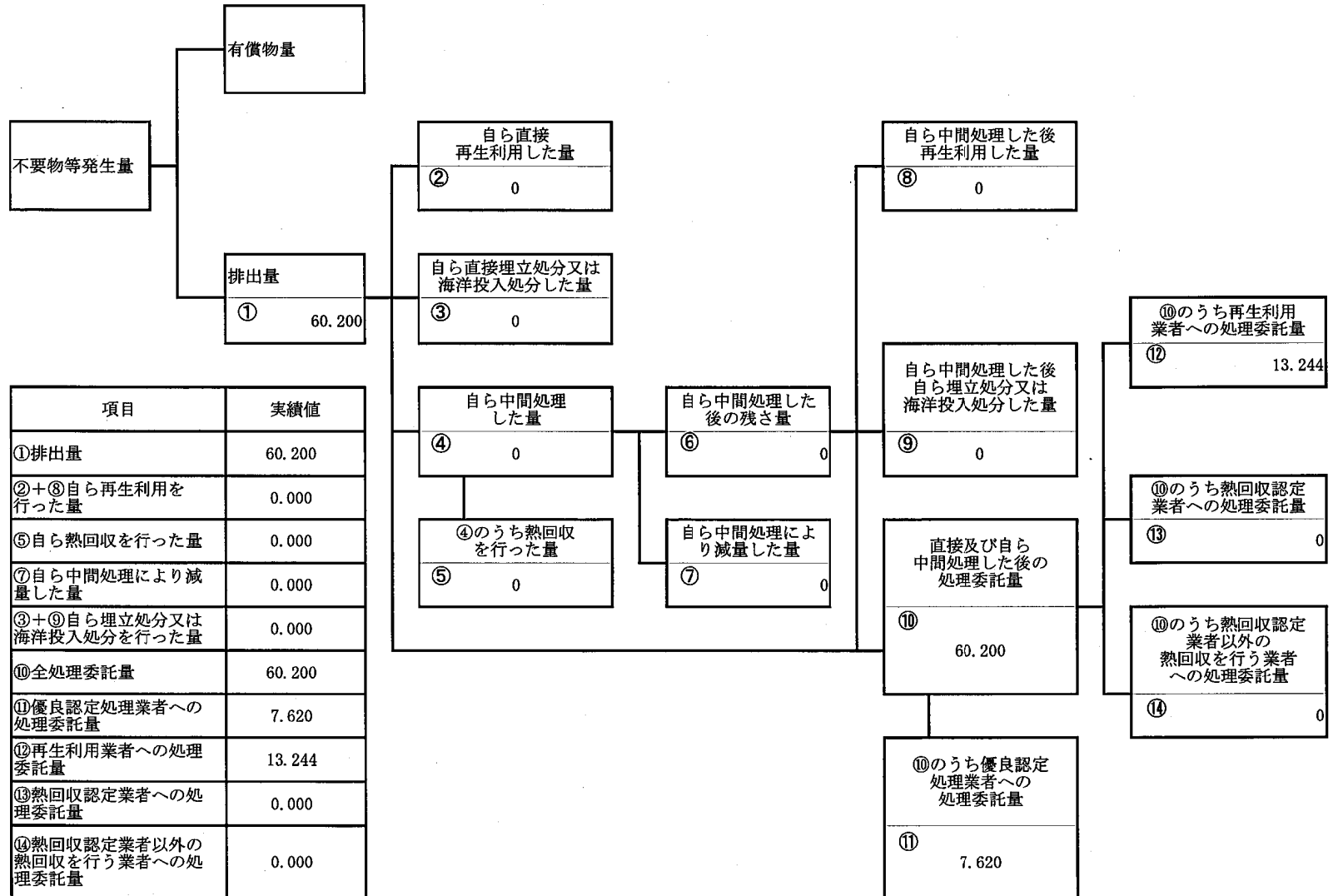
⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

14	0
----	---

項目	実績値
①排出量	98.776
②+③自ら再生利用を行なった量	0.000
⑤自ら熱回収を行なった量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行なった量	0.000
⑩全処理委託量	98.776
⑪優良認定処理業者への処理委託量	86.492
⑫再生利用業者への処理委託量	15.804
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

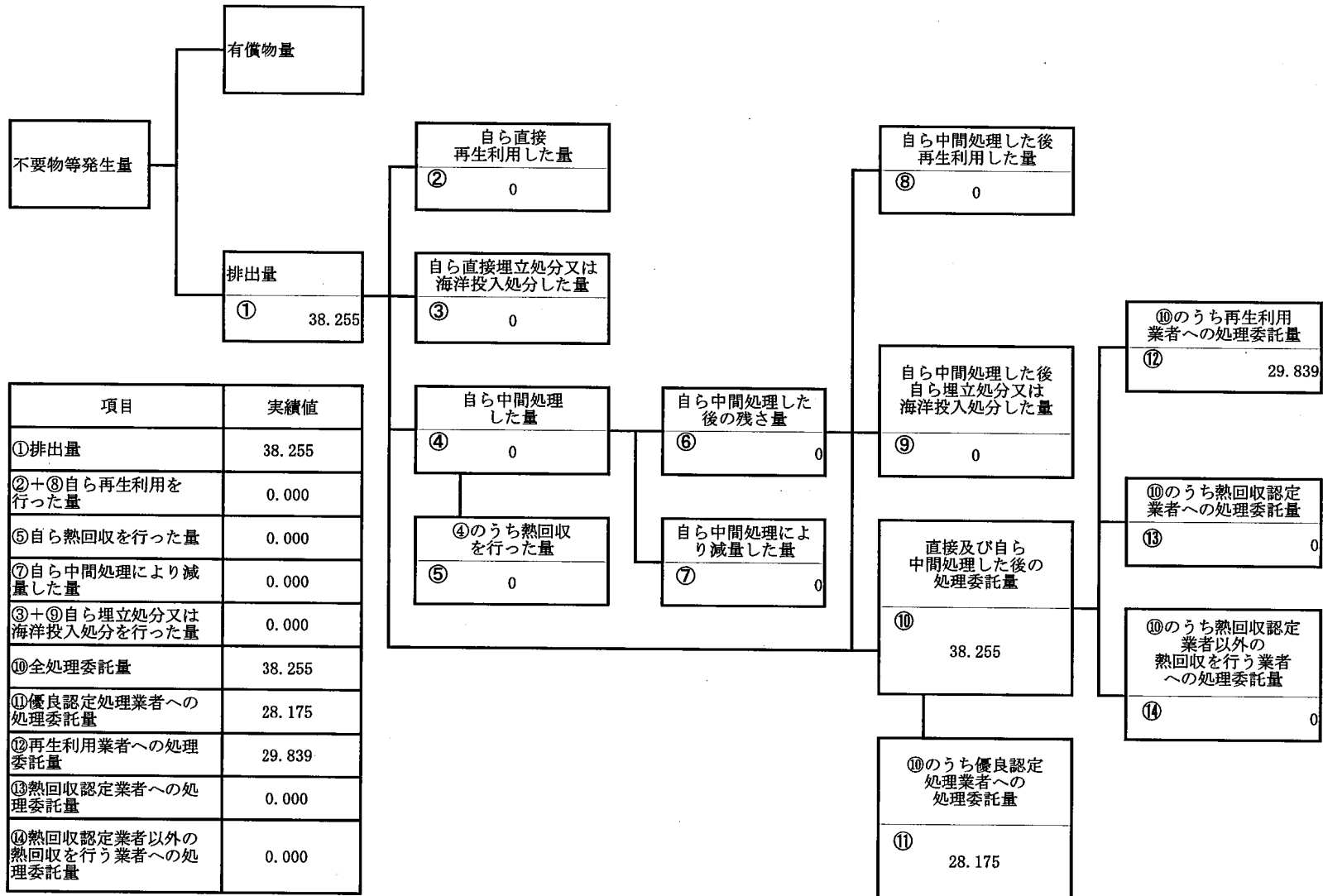
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず)



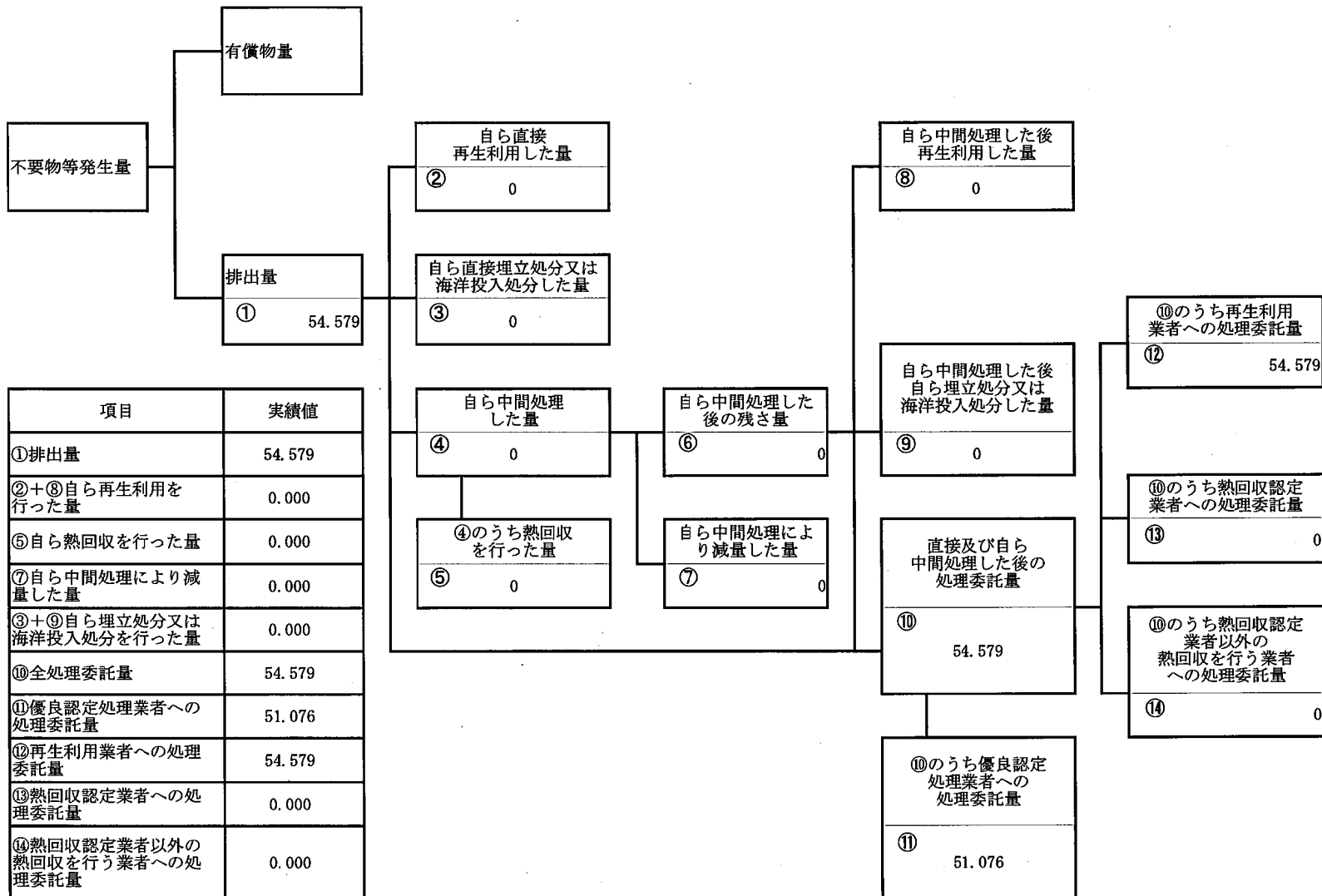
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃プラスチック類)



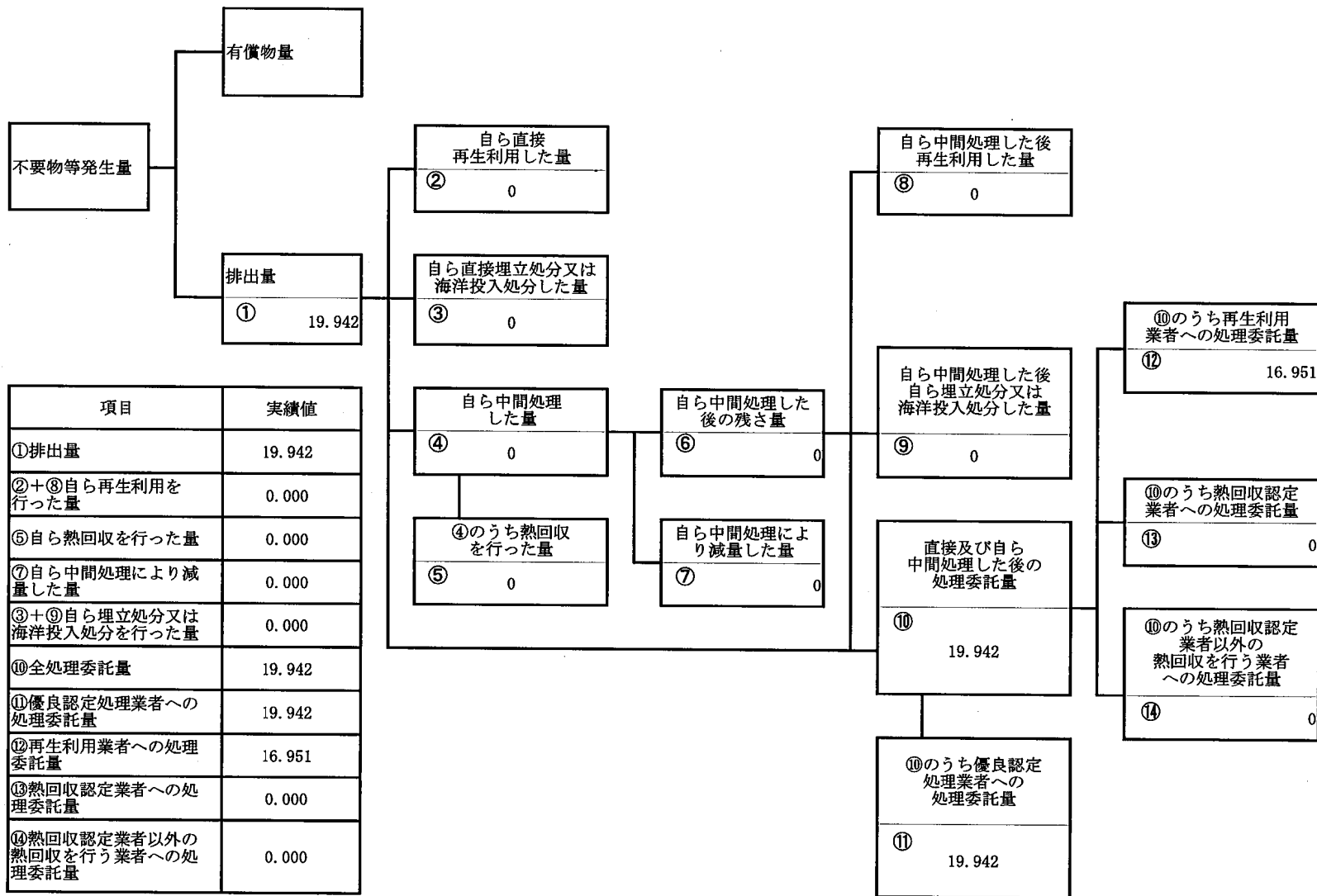
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：金属くず)



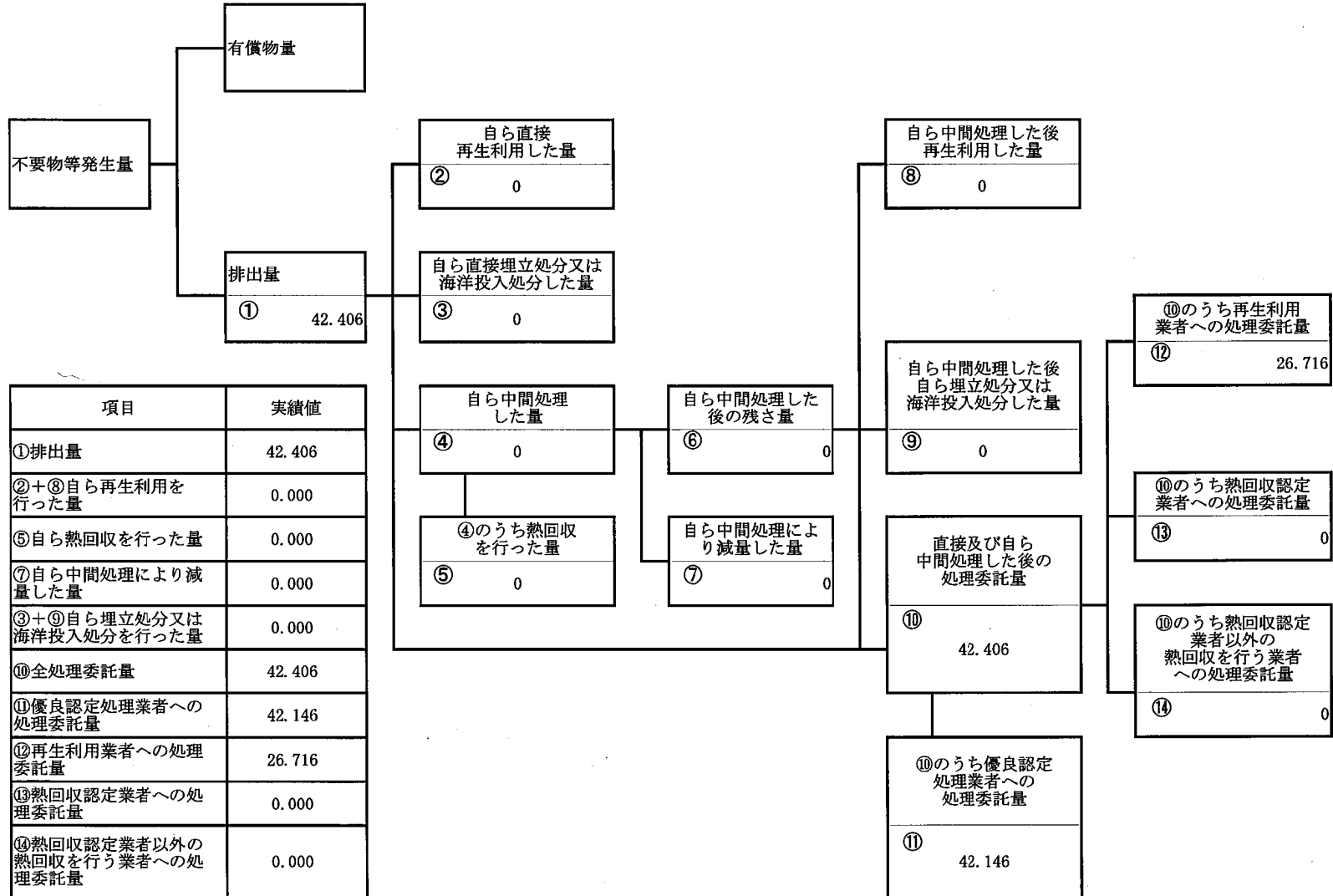
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：建設混合廃棄物)



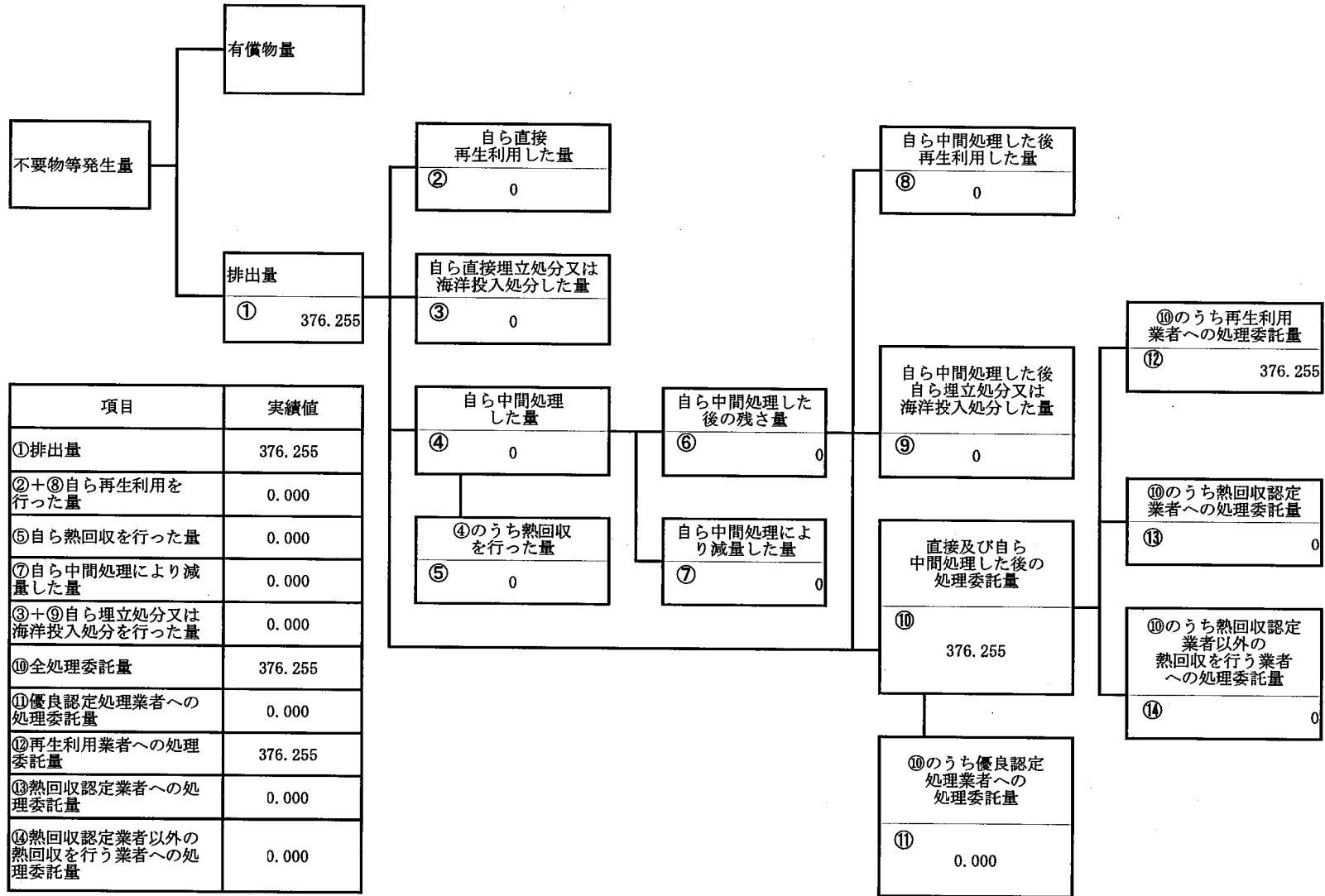
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：安定型混合廃棄物)



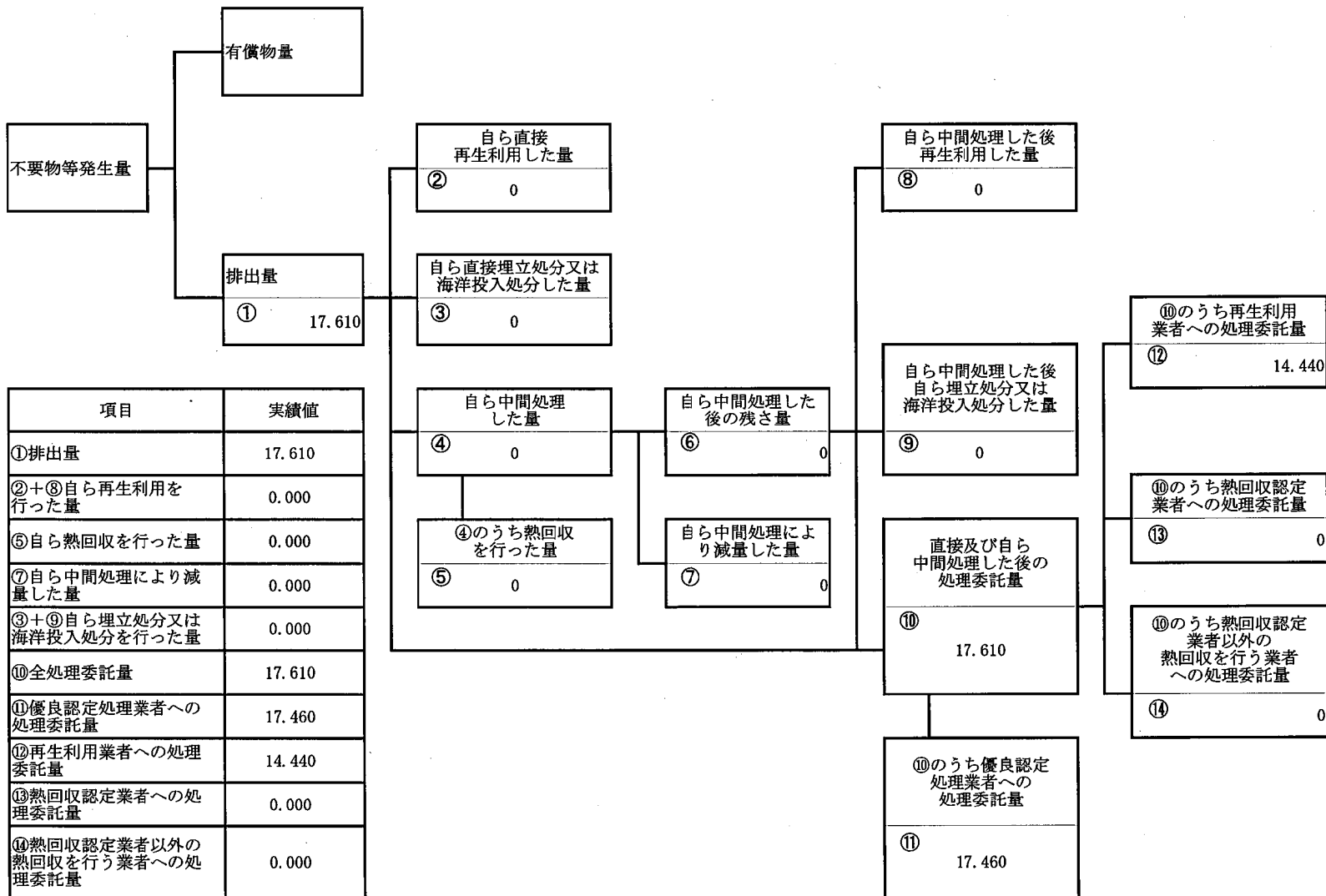
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：建設汚泥)



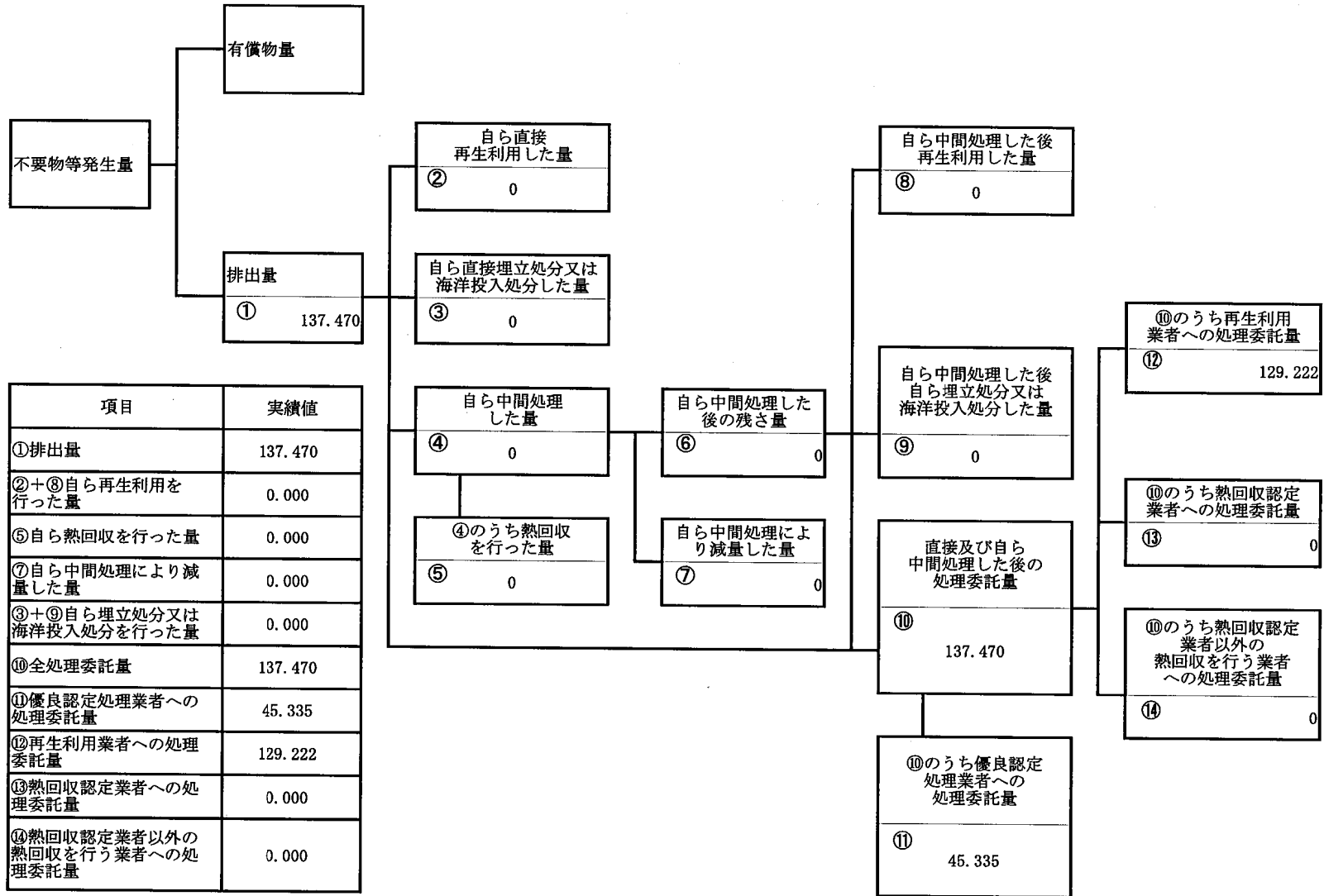
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：紙くず)



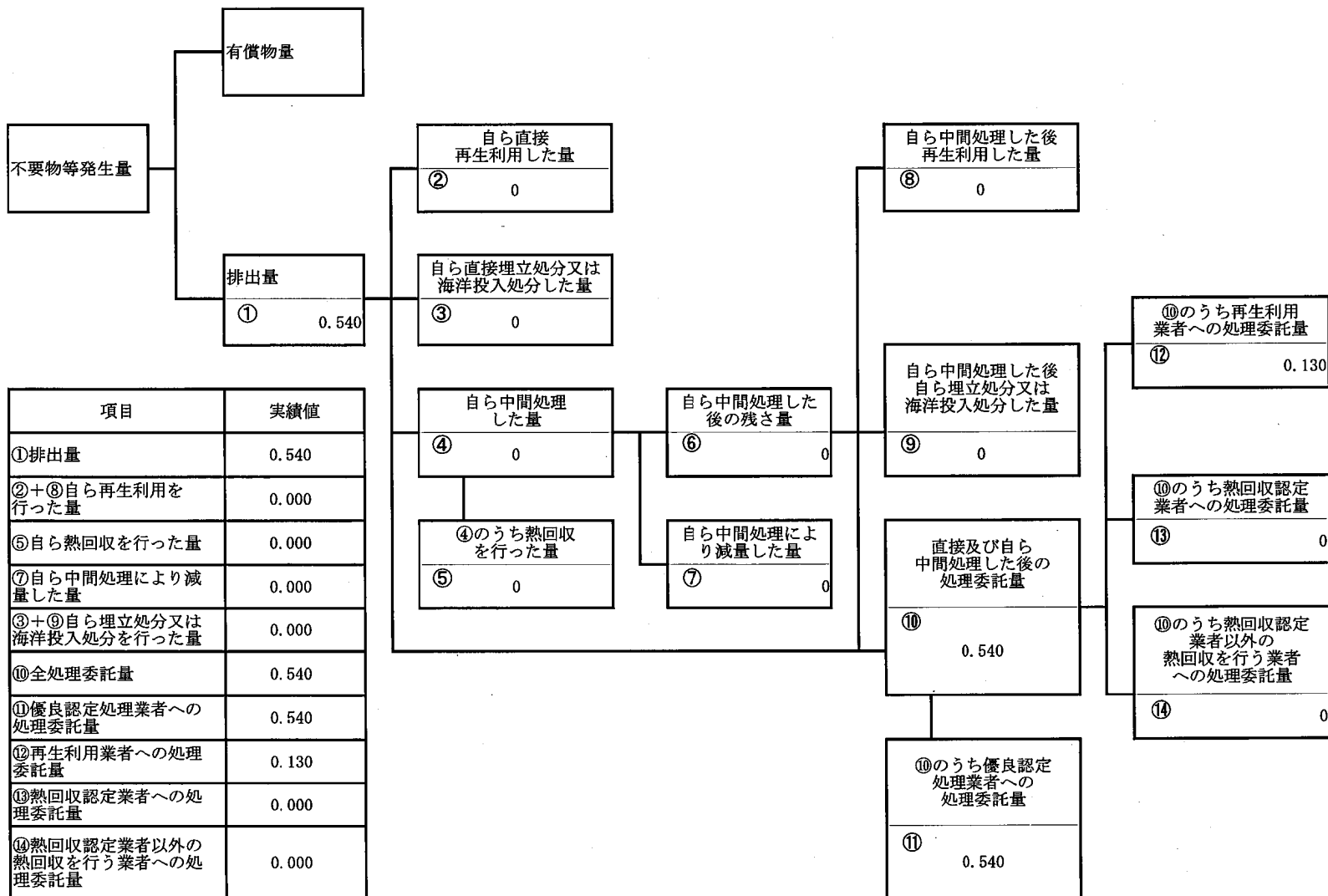
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：木くず)



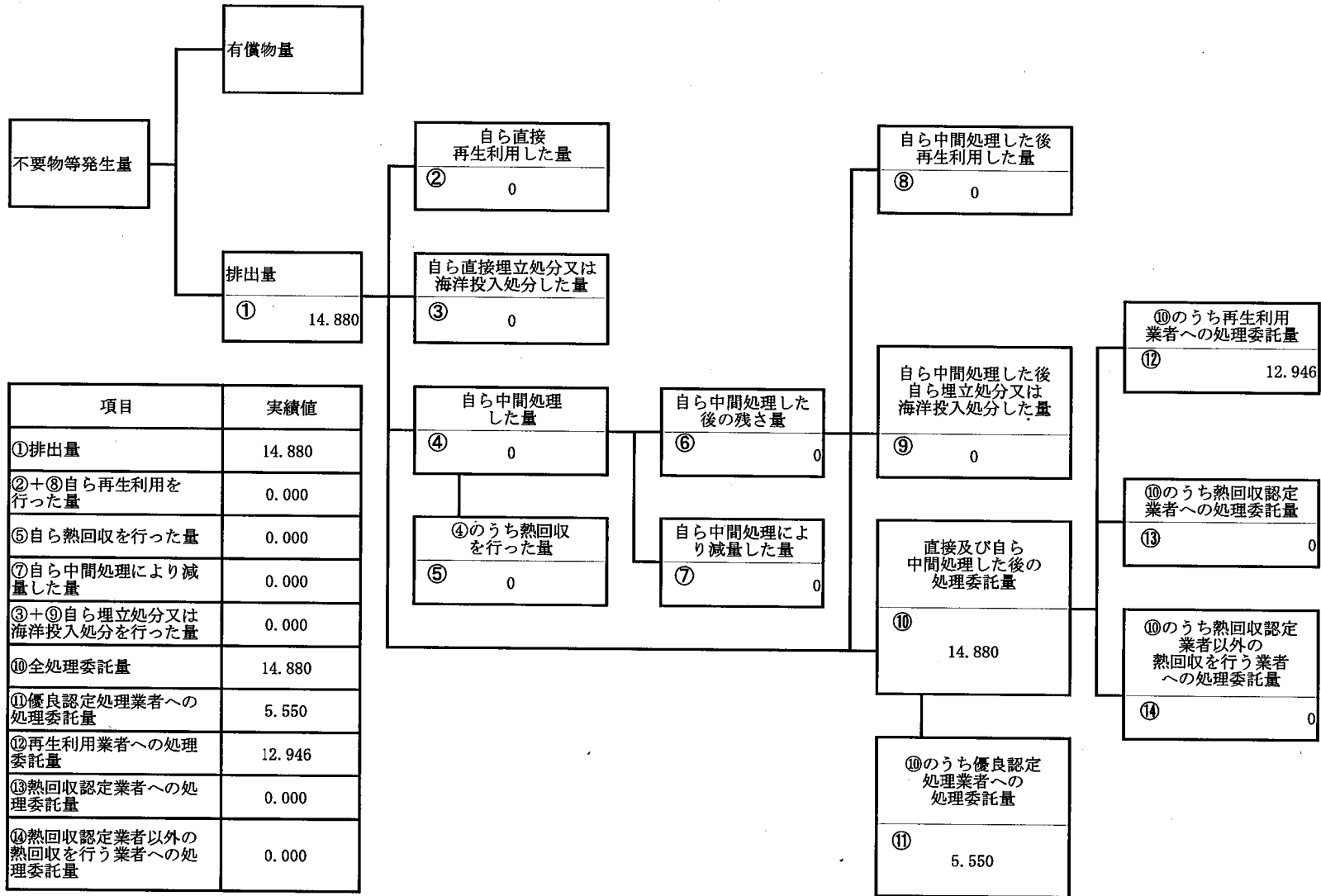
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：繊維くず)



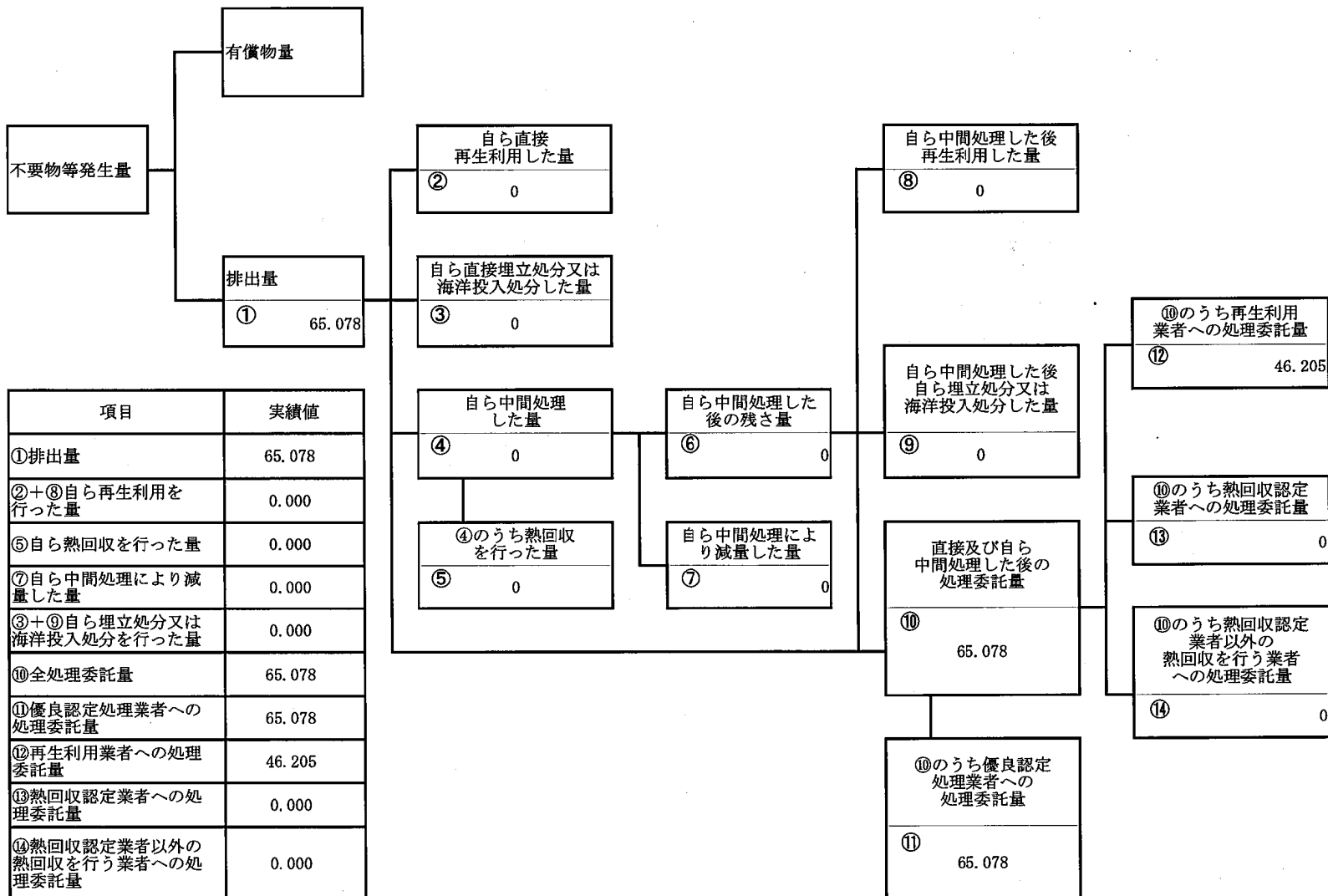
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃石膏ボード)



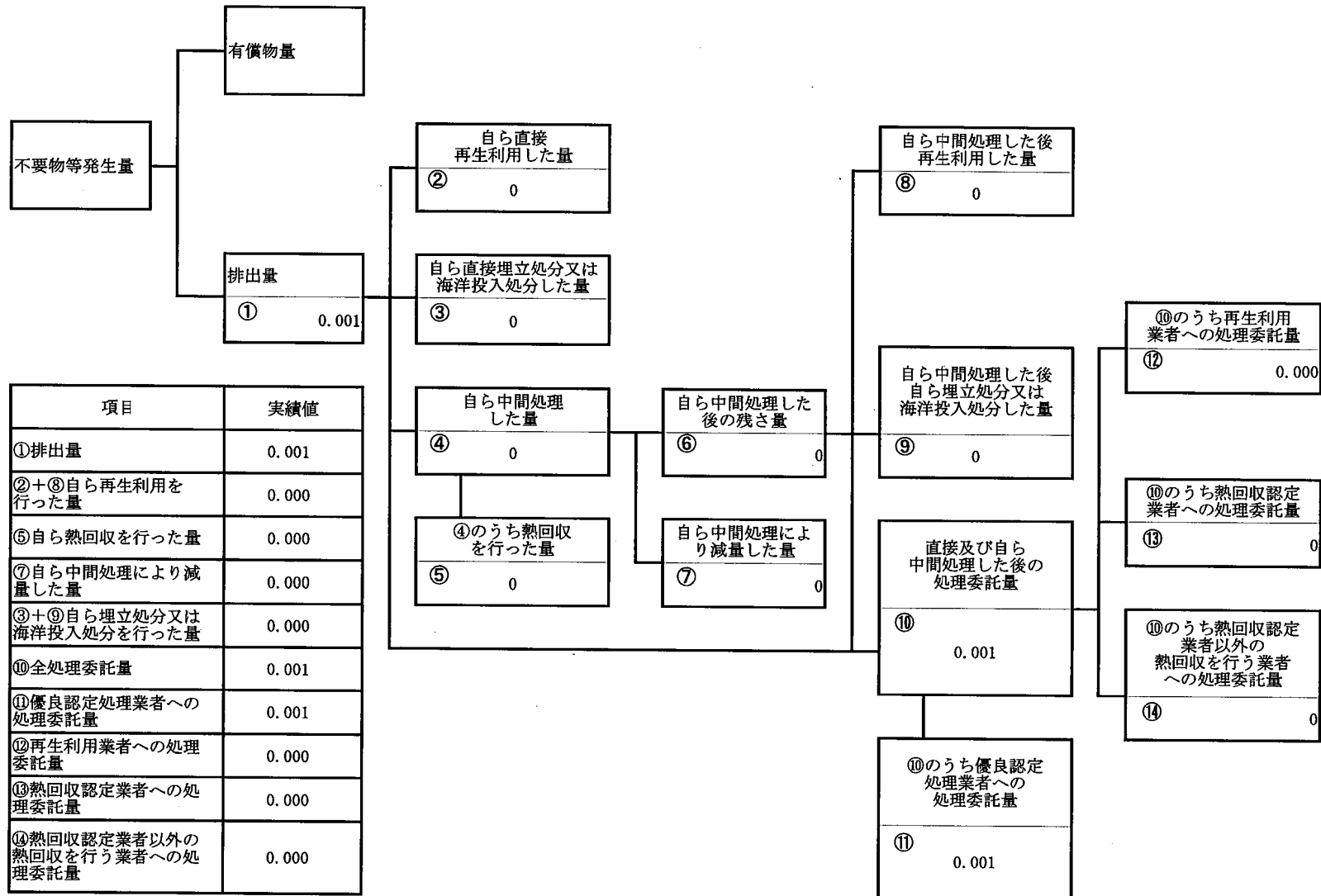
計画の実施状況

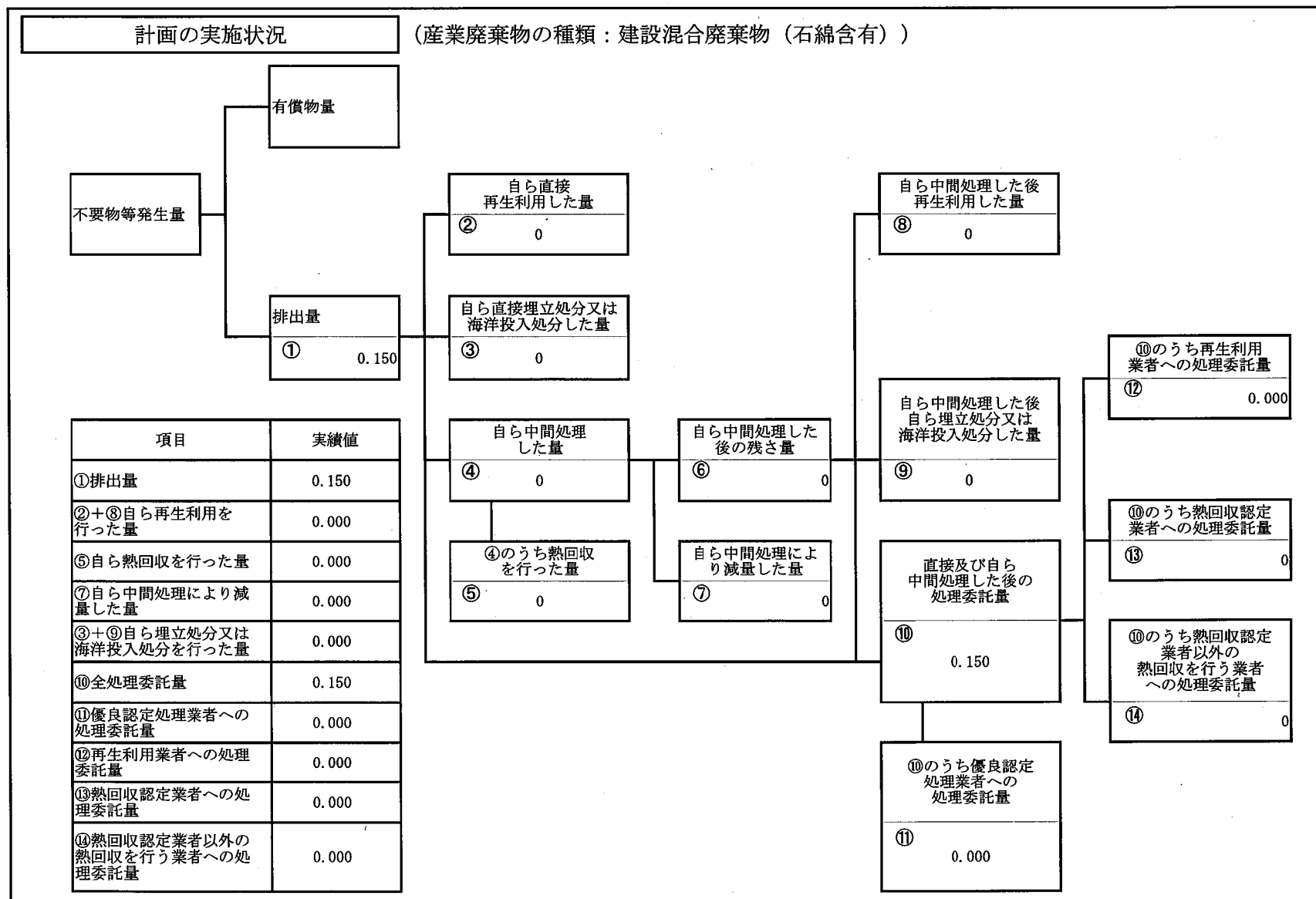
(産業廃棄物の種類：管理型混合廃棄物)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃プラスチック類（石綿含有）)





備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとの目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物処理法第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物処理法第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画の進捗状況を記入すること。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 1/4)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	アイシン開発株式会社（豊田市各現場）	従業員数（人）	336	前年度の3月31日現在の従業員数（パート等の臨時職員及び役員等を含む）を記入して下さい。
記入者名	安全環境部 鈴木 麻紀美	当該事業所の元請完成工事高（万円/年）	440,099	建設業の場合記入。 豊田市内で行われた工事の年間の元請完成工事高（出来高工事を含む）を記入して下さい。
連絡先	0566-27-8701	当該事業所の製造品出荷額（万円/年）	—	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

産業廃棄物の種類 (名称)		コンガラ	アスガラ	その他がれき類	ガラスくず・コン クリートくず及び 陶磁器くず	廃プラスチック類
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 （ 5 年 度 実 績 ）	a 不要物等発生量（t/年）	719.780	298.936	98.776	60.200	38.255
	b 有償物量（t/年）	0	0	0	0	0
	① 排出量（t/年）（①=a-b）	719.780	298.936	98.776	60.200	38.255
	② 自ら直接再生利用した量（t/年）	0	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量（t/年）	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量（t/年）	0	0	0	0	0
	処理方法	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）
	⑦ 自ら中間処理により減量した量（t/年）（⑦=④-⑥）	0	0	0	0	0
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量（t/年）	0	0	0	0	0
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量（t/年）	0	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量（t/年）	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量（t/年）（c=⑥-⑧-⑨）	0	0	0	0	0
	d 直接処理委託量（t/年）（d=①-②-③-④）	719.780	298.936	98.776	60.200	38.255
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量（t/年）（⑩=c+d）	719.780	298.936	98.776	60.200	38.255
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量（t/年）	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量（t/年）	719.780	298.936	98.776	60.200	38.255
	処理方法	C	C	C・E（選別）	C・E（選別）	A・C
	g 委託中間処理により減量した量（t/年）	0	0	0	0	1.913
	h 委託中間処理した後再生利用した量（t/年）	719.780	298.936	15.804	13.244	29.839
	再生利用用途	A・D	A・D	A・D	A	A
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量（t/年）	0	0	82.972	46.956	6.503
	埋立処分先	—	—	A 県内	A 県内	A 県内
	j 再生利用量（t/年）（j=②+⑧+h）	719.780	298.936	15.804	13.244	29.839
	k 中間処理による減量（t/年）（k=⑦+g）	0	0	0	0	1.913
	l 最終処分量（t/年）（l=③+⑨+e+i）	0	0	82.972	46.956	6.503

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A：原料・材料 B：燃料 C：飼料・肥料 D：建設材料 E：その他（具体的に記載）

3 処理方法コード A：焼却・溶融 B：脱水・乾燥 C：破砕・圧縮 D：中和 E：その他（具体的に記載）

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。

5 ①～④、⑥～⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 2/4)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	アイシン開発株式会社（豊田市各現場）	従業員数（人）	336	前年度の3月31日現在の従業員数（パート等の臨時職員及び役員等を含む）を記入して下さい。
記入者名	安全環境部 鈴木 麻紀美	当該事業所の元請完成工事高（万円/年）	440,099	建設業の場合記入。 豊田市内で行われた工事の年間の元請完成工事高（出来高工事を含む）を記入して下さい。
連絡先	0566-27-8701	当該事業所の製造品出荷額（万円/年）	—	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

産業廃棄物の種類 (名称)		金属くず	建設混合廃棄物	安定型混合廃棄物	建設汚泥	紙くず
項目						
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 （ 5 年 度 実 績 ）	a 不要物等発生量（t/年）	54.579	19.942	42.406	376.255	17.610
	b 有償物量（t/年）	0	0	0	0	0
	① 排出量（t/年）（①=a-b）	54.579	19.942	42.406	376.255	17.610
	② 自ら直接再生利用した量（t/年）	0	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量（t/年）	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量（t/年）	0	0	0	0	0
	処理方法	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）
	⑦ 自ら中間処理により減量した量（t/年）（⑦=④-⑥）	0	0	0	0	0
	⑥ 自ら中間処理した後の残存量（t/年）	0	0	0	0	0
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量（t/年）	0	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量（t/年）	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量（t/年）（c=⑥-⑧-⑨）	0	0	0	0	0
	d 直接処理委託量（t/年）（d=①-②-③-④）	54.579	19.942	42.406	376.255	17.610
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量（t/年）（⑩=c+d）	54.579	19.942	42.406	376.255	17.610
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量（t/年）	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量（t/年）	54.579	19.942	42.406	376.255	17.610
	処理方法	C・E（選別）	A・E（選別）	C・E（選別）	B	A
	g 委託中間処理により減量した量（t/年）	0	1.396	1.696	0.000	2.818
	h 委託中間処理した後再生利用した量（t/年）	54.579	16.951	26.716	376.255	14.440
	再生利用用途	A	A	A	D	A
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量（t/年）	0	1.595	13.994	0.000	0.352
	埋立処分先	—	A 県内	A 県内	—	A 県内
	j 再生利用量（t/年）（j=②+⑧+h）	54.579	16.951	26.716	376.255	14.440
	k 中間処理による減量（t/年）（k=⑦+g）	0	1.396	1.696	0	2.818
	l 最終処分量（t/年）（l=③+⑨+e+i）	0	1.595	13.994	0	0.352

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A：原料・材料 B：燃料 C：飼料・肥料 D：建設材料 E：その他（具体的に記載）

3 処理方法コード A：焼却・溶融 B：脱水・乾燥 C：破碎・圧縮 D：中和 E：その他（具体的に記載）

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。

5 ①～④、⑥～⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 3/4)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	アイシン開発株式会社 (豊田市各現場)	従業員数 (人)	336	前年度の3月31日現在の従業員数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	安全環境部 鈴木 麻紀美	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)	440,099	建設業の場合記入。 豊田市内で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	0566-27-8701	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)	—	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

産業廃棄物の種類 (名称)		木くず	繊維くず	廃石膏ボード	管理型混合廃棄物	廃プラスチック類 (石綿含有)
項目						
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 (5 年 度 実 績)	a 不要物等発生量 (t/年)	137.470	0.540	14.880	65.078	0.001
	b 有償物量 (t/年)	0	0	0	0	0
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	137.470	0.540	14.880	65.078	0.001
	② 自ら直接再生利用した量(t/年)	0	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	0	0	0	0	0
	⑥ 自ら中間処理した後の残量 (t/年)	0	0	0	0	0
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0	0	0	0	0
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	137.470	0.540	14.880	65.078	0.001
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	137.470	0.540	14.880	65.078	0.001
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
f 委託中間処理量 (t/年)	137.470	0.540	14.880	65.078	0.001	
処理方法	C・E (選別)	A・C	C・E (選別)	C・E (選別)	A・C	
g 委託中間処理により減量した量(t/年)	6.874	0.038	0.000	8.460	0.000	
h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	129.222	0.130	12.946	46.205	0.000	
再生利用用途	A	A	A	A	A	
i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	1.375	0.373	1.934	10.412	0.001	
埋立処分先	A 県内	A 県内	A 県内	A 県内	A 県内	
j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)	129.222	0.130	12.946	46.205	0	
k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)	6.874	0.038	0	8.460	0	
l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)	1.375	0.373	1.934	10.412	0.001	

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A: 原料・材料 B: 燃料 C: 飼料・肥料 D: 建設材料 E: その他 (具体的に記載)

3 処理方法コード A: 焼却・熔融 B: 脱水・乾燥 C: 破碎・圧縮 D: 中和 E: その他 (具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No. 欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 4/4)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	アイシン開発株式会社（豊田市各現場）	従業員数（人）	336	前年度の3月31日現在の従業者数（パート等の臨時職員及び役員等を含む）を記入して下さい。
記入者名	安全環境部 鈴木 麻紀美	当該事業所の元請完成工事高（万円/年）	440,099	建設業の場合記入。 豊田市内で行われた工事の年間の元請完成工事高（出来高工事を含む）を記入して下さい。
連絡先	0566-27-8701	当該事業所の製造品出荷額（万円/年）	—	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

産業廃棄物の種類 (名称)		建設混合廃棄物（ 石綿含有）				
項目						
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 （ 5 年 度 実 績 ）	a 不要物等発生量（t/年）	0.150				
	b 有償物量（t/年）	0				
	① 排出量（t/年）（①=a-b）	0.150				
	② 自ら直接再生利用した量（t/年）	0				
	再生利用用途	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量（t/年）	0				
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量（t/年）	0				
	処理方法	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）
	⑦ 自ら中間処理により減量した量（t/年）（⑦=④-⑥）	0				
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量（t/年）	0				
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量（t/年）	0				
	再生利用用途	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量（t/年）	0				
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量（t/年）（c=⑥-⑧-⑨）	0				
	d 直接処理委託量（t/年）（d=①-②-③-④）	0.150				
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量（t/年）（⑩=c+d）	0.150				
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量（t/年）	0				
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量（t/年）	0.150				
	処理方法	A・E（選別）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）
	g 委託中間処理により減量した量（t/年）	0				
	h 委託中間処理した後再生利用した量（t/年）	0				
	再生利用用途	A	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量（t/年）	0.150				
	埋立処分先	A 県内	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量（t/年）（j=②+⑧+h）	0				
	k 中間処理による減量（t/年）（k=⑦+g）	0				
	l 最終処分量（t/年）（l=③+⑨+e+i）	0.150				

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A：原料・材料 B：燃料 C：飼料・肥料 D：建設材料 E：その他（具体的に記載）

3 処理方法コード A：焼却・溶融 B：脱水・乾燥 C：破碎・圧縮 D：中和 E：その他（具体的に記載）

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。

5 ①～④、⑥～⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。